

『バック・トゥ・ザ・フューチャー PART3』(Back to the Future Part III) は、1990 年のアメリカ映画で、映画『バック・トゥ・ザ・フューチャー PART2』の続編。『バック・トゥ・ザ・フューチャー』シリーズ 3 部作の 3 番目で完結編にあたる。SF 映画。

あらすじ

前作のラストシーンで、タイムマシンのデロリアンが飛行中落雷に打たれ、ドクは 1885 年に飛ばされてしまった。しかし、そのドクがマーティに送られるよう 1885 年にウエスタンユニオンに手配していた手紙の指示通り、マーティは PART1 のラストで別れたばかりの 1955 年のドクと再会。手紙には自分は西部開拓時代の鍛冶屋として元気にやっている事、1885 年の技術では故障したデロリアンを修復し帰還するのは不可能な為この時代で生涯を終える決心をした事、そしてタイムマシン及びタイムトラベルはまだ人類の手には余る物だった事を痛感し、残しておいた故障したデロリアンを 1955 年の自分に修復させ 1985 年に帰った際にはデロリアンを破壊してしまう様に指示されていた。70 年前のドクが気掛かりながらも 1985 年に帰るために鉱山に封印されたデロリアンを掘り起こすマーティ。だが、鉱山付近の墓地で“エメット・ブラウン”の名が彫られた墓石を偶然発見し、記録を調べたところ、手紙を書いた約一週間後の 1885 年 9 月 7 日にドクがビフの祖先であるビュフォード・タネンに銃殺されるのを知ってしまう。

ドクを救う為に、マーティは 1955 年のドクの協力の下、修理したデロリアンで手紙の消印の翌日となる 1885 年 9 月 2 日午前 8 時 00 分へとタイムトラベルする。しかしタイムトラベルした直後、インディアン[注 1]の大群と騎兵隊に遭遇した上に熊にも襲われ、坂から転げ落ちて気絶してしまう。そこで自分の祖先にあたるシェイマスとその妻のマギーに助けられ、彼らの協力でヒルバレーにたどり着いたマーティだったが、不運にもビュフォード・タネンに出くわしてしまった。彼に因縁をつけられたマーティは危うく殺されそうになるが、間一髪のところでドクに助けられ再会を果たす。

しかし、肝心のデロリアンは自走不能になっていた。様々な方法を試した末、最終的に蒸気機関車でデロリアンを押して走らせる作戦を考える。だがドクは峡谷に転落して死ぬはずだった女性「クララ・クレイトン」を助けた挙げ句、お互いに恋に落ちてしまう。クララからカーニバルに誘われたドクとマーティだったがそこにタネン一味が襲来、隠し持っていたデリンジャー銃でドクを背後から暗殺しようとするが、マーティの咄嗟のパイ皿投げで失敗。激怒したビュフォードは今度の月曜(9 月 7 日)にマーティに決闘を申し込み、マーティも挑発に乗ってこれを受けてしまう。1955 年に撮った墓石の写真から「エメット・ブラウン」の文字が消え安堵する二人だったが、墓石自体と日付が全く変わらない事を訝しむドク。

(中略)

無事に 1885 年に戻ることができたマーティだったが直後、デロリアンがディーゼル機関車に轢かれてバラバラに壊れてしまった。1885 年は「2」にてスポーツ年鑑を燃やしたことで「良い」85 年に戻っており、恋人のジェニファーも無事だった。マーティ自身も西部時代の一件にて挑発を克服し、明るい未来が示唆された。しかしもう永久にドクとは会えない、とマーティがジェニファーとドクとの別れを悲しんでいると、そこに蒸気機関車の形をしたタイムマシンが現れる。ドクは 1885 年に取残された後、新たにタイムマシンを作っていたのだった。しかもクララと結婚し、2 人の息子を授かっていた。ドクは「未来は白紙だ、君たち自身で創っていくものだ」「君たちも、いい未来を創りたまえ」といい残し、蒸気機関車型のタイムマシンへ乗り込みどこかへ走り去って行った。